

無石綿

一材型



JIS A 6916

製造元 日本化成プロダクト株式会社

認証番号

関東工場

TC 03 07 371

関西工場

TC 05 19 001

九州工場

TC 08 19 003

NSポリマーミックス#300

セメント系下地調整厚塗材 2種(CM-2) (タフバインダー・再乳化形粉末樹脂 混入タイプ)

NS ポリマーミックス #300 は、一材型ポリマーセメント系下地調整塗材で、各種仕上材の施工が可能です。

工場生産による均一配合のため、水練りだけで使用でき、品質管理が容易です。

均一
配合

水練り
だけで

品質

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。

環境

一材型製品のため、缶・ボトル等の廃材がなく、環境負荷の少ない製品です。

特長

EVA

エチレン酢酸ビニル (EVA) 系再乳化形粉末樹脂を適正配合しているため、接着耐久性に優れています。

接着
耐久性

標準仕様

| 荷姿 | 適用部位 | 適用下地 | 適用仕上げ* | 標準調合 | 塗厚 | | 標準施工面積 |
|--------|------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------|--------|---------|---------------------------------|
| | | | | | 施工可能範囲 | JIS参考範囲 | |
| 25kg/袋 | 内・外壁、 内・外床、 手摺天端 | コンクリート、 PC板、ブロック ALC パネル | セラミックタイル、 仕上塗材、 タイルカーペット | 清水 約 6.0ℓ | 3~15mm | 3~10mm | 約 1.9m ² (10mm 厚) |

※ALC パネル下地の場合は総塗厚を 5mm 以下としてください。(仕上材を含めた総重量は 30kg/m²以下となるように留意してください。)
注) *: 仕上材の種類に応じて適切な表面調整が必要です

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

性能

| 試験項目 | 試験結果 | JIS A 6916 CM-2 の品質基準 |
|---|--------------------------|-----------------------|
| 軟度変化(%) | 3 | -20 ~ 20 |
| 耐ひび割れ性 | ひび割れの発生なし | ひび割れないこと |
| 耐衝撃性 | ひび割れ及びはがれなし | ひび割れ及びはがれないこと |
| 曲げ強さ(N/mm ²) | 7.1 | 5.0 以上 |
| 圧縮強さ(N/mm ²) | 31.7 | 10.0 以上 |
| 付着強さ(N/mm ²) | 標準養生 | 2.9 |
| | 低温養生 | 1.8 |
| 吸水量(g) | 0.9 | 1.0 以上 |
| 透水量(mL/h) | 0.1 | 0.7 以上 |
| 長さ変化(%) | -0.14 | 2.0 以下 |
| 仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性 | 外観 | 0.5 以下 |
| | 付着強さ(N/mm ²) | 割れ・膨れ及びはがれなし |
| 仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性(N/mm ²) | 2.0 | 割れ・膨れ及びはがれないこと |
| | 2.1 | 1.0 以上 |
| | | 0.6 以上 |

※上記試験結果は、JIS 等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)技術開発本部

施工法



下地の清掃
下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。

*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

下地処理 (吸水調整材塗布)
下地の乾燥後、NS ハイフレックス HF-1000 の 5 倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

*ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。

*ブロック等下地の動きが想定される場合は適切なひび割れ抑制措置が必要です。

練混ぜ
NSポリマーミックス#300 25kgに対し水約6.0ℓを加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季 40 分以内、冬季 60 分以内を目安に使い切り、練足し、水を加えての練直しは避けてください。

塗付け
こて塗りの場合、こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるように塗り付けてください。仕上材の種類によって、金ごて押え、木ごて押え等をおこなってください。

*標準仕様の塗厚をこえる場合は、2 回以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季 3 日以上、冬季 7 日以上としてください。ただし、NSポリマーミックス#300 で全面塗りの場合は、1 回の塗厚を 8mm 以下としてください。

吹付けの場合、スプレーガンで均一に吹き付けてください。仕上材の種類によって、金ごて押え、木ごて押え等をおこなってください。

*浮きや割れの原因となりますので、1 回の吹付け厚さは、NS ポリマーミックス#300 の場合は 8mm 以下としてください。
*NS ポリマーミックス#300 で吹付け厚さが 8mm をこえる場合は、2 回以上に分けて吹き付けてください。その際の工程間隔は、夏季 3 日以上、冬季 7 日以上としてください。

*JASS 15 左官工事の標準仕様に従って施工してください。塗厚が 25mm をこえる場合はステンレスアンカーピンとステンレスラス等を併用してください。

養生
通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合もシート掛け等の養生をおこなってください。

*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。

*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。

*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので、塗り付け後から仕上材の施工までの養生は夏季 7 日以上、冬季 14 日以上おこなってください。



使用上の注意

- 気温が 3℃ 以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3 ヶ月以内を目安に使用してください。

| | |
|--------------|---|
| 日本建築仕上材工業会登録 | |
| 登録番号 | 0506015 |
| 放散等級区分表示 | F☆☆☆☆ |
| 問合せ先 | http://www.nsk-web.org/ |

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル ☎ **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。